

(別紙)

令和5年度病害虫発生予報第5回（イネ）

令和5年8月23日

J A 愛知東営農部

新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課

～令和5年8月18日発表の「あいち病害虫情報最新情報」他の概要～

1 あいち病害虫情報最新情報

○イネいもち病

- ・ 県下では葉いもちの発生量は多く、穂いもちの発生量もやや多い状況です。葉いもちが上位葉で発生している場合は適宜防除しましょう。

○トビイロウンカ

- ・ 8月上旬までの本田調査や予察灯では発生が確認されていません。

2 斑点米カメムシ類情報第3号（イネカメムシ）の概要

○斑点米カメムシ類

- ・ 8月上旬の水田内の捕獲数は過去10年間で2番目に多くなっています。イネカメムシは過去10年間で最も多い状況です。
- ・ イネカメムシは出穂直後から穂を加害し不稔穂を発生させます。他のカメムシ類よりも加害時期が早いため、出穂期に効果が表れるように早めに防除します。その後も発生が多い場合は1回目の防除から7～10日後に2回目の防除を行います。
- ・ 畦畔や本田内のイネ科雑草を除草しましょう。